

鎌倉市公共施設再編計画策定に向けた利用者アンケート調査 結果について

1. アンケート調査の実施方法

調査の目的：平成 24 年度に鎌倉市公共施設再編計画基本方針を策定するにあたり、公共施設の利用実態を把握することを目的に実施。

調査の期間：平成 24 年 10 月 4 日(木)～11 月 3 日(土)まで

調査の対象：①施設利用者 ②市有集会施設(14 施設)の利用代表者等

調査の方法：①施設にアンケート用紙を設置する方式(30 カ所)

②市有集会施設(15 施設)については代表者等アンケート

回答者数：①3,932 人 ②14 人

①アンケート対象施設と回収数

アンケート対象施設(回収箱各 1 カ所)			調査実施日	回収数	合計
行政センター	腰越	支所	10月 6日 ～ 11月 2日	50	1,427
		図書館		25	
		学習センター		99	
	深沢	支所	10月 5日 ～ 11月 2日	146	
		図書館		130	
		学習センター		191	
	大船	支所	10月 5日 ～ 11月 3日	256	
		図書館		90	
		学習センター		200	
	玉縄	支所	10月 3日 ～ 11月 14日	100	
		図書館		126	
		学習センター		14	
鎌倉生涯学習センター			10月 10日 ～ 11月 10日	40	40
玉縄学習センター分室			10月 12日 ～ 11月 3日	163	163
中央図書館			10月 4日 ～ 10月 21日	208	208
青少年会館	鎌倉	10月 2日 ～ 10月 22日	165	378	
	玉縄	10月 5日 ～ 10月 19日	213		
福祉センター	鎌倉市社会福祉協議会		10月 10日 ～ 11月 19日	92	92
老人福祉センター	名越やすらぎセンター		10月 8日 ～ 10月 17日	132	652
	今泉さわやかセンター		10月 5日 ～ 10月 19日	32	
	玉縄すこやかセンター		10月 3日 ～ 10月 19日	213	
	教養センター		10月 1日 ～ 10月 22日	199	
	こゆるぎ荘		10月 6日 ～ 10月 12日	76	
レイ・ウェル鎌倉			10月 24日 ～ 10月 27日	78	78
鎌倉芸術館			10月 6日 ～ 10月 19日	244	244
スポーツ施設	鎌倉体育館		9月 27日 ～ 11月 4日	196	650
	大船体育館		9月 10日 ～ 10月 23日	159	
	見田記念体育館		10月 5日 ～ 10月 18日	166	
	鎌倉武道館		10月 28日 ～ 11月 8日	7	
	こもれび山崎温水プール		10月 5日 ～ 10月 31日	122	

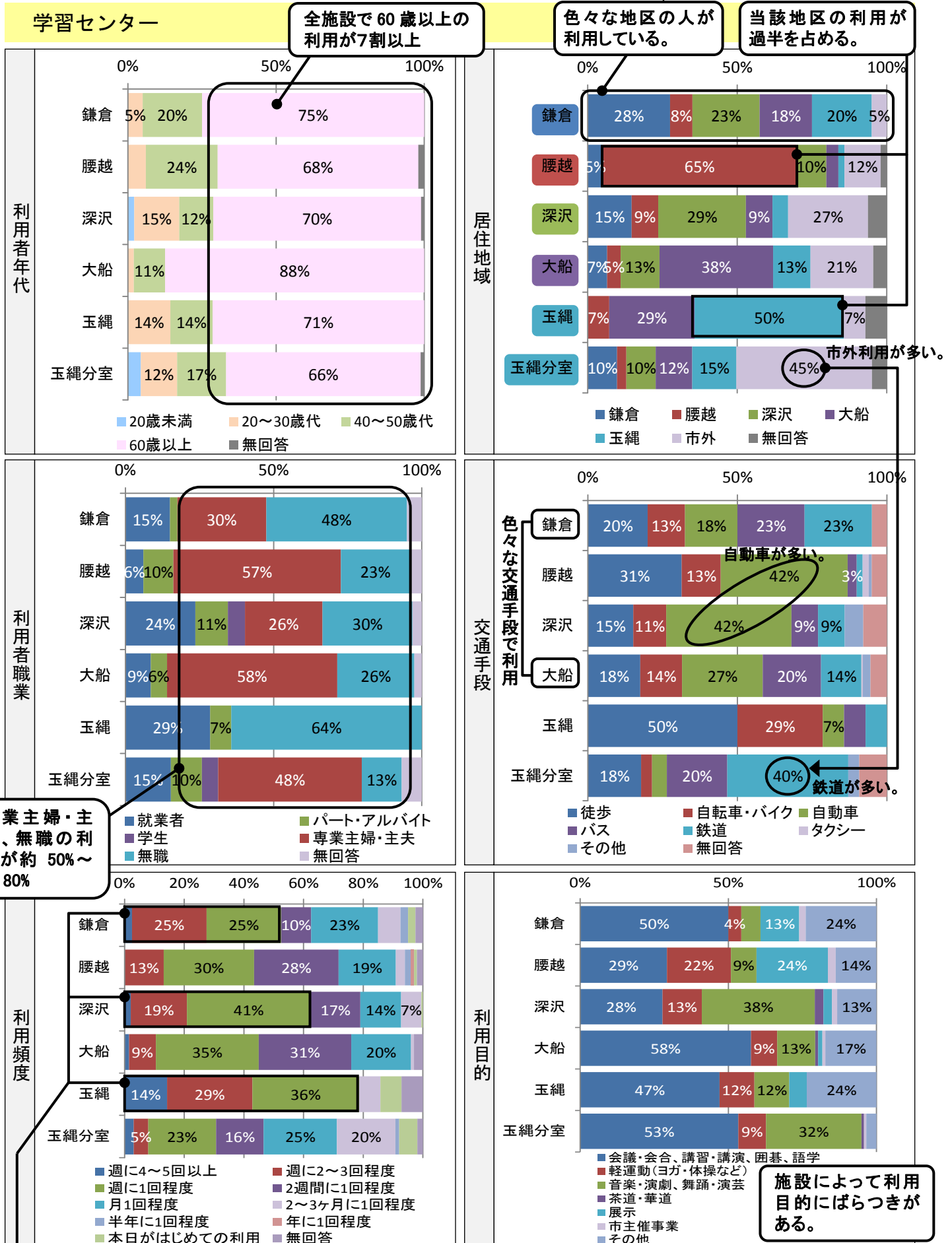
②市有集会施設(回答数は 15 施設各 1 件)

星月会館	NPOセンター鎌倉	深沢住宅集会所
鎌倉山集会所	NPOセンター大船	笛田住宅集会所
七里ガ浜町内会館	稲村ガ崎自治会館	梶原住宅集会所
七里ガ浜自治会館	(極楽寺ポンプ場管理舎)	梶原東住宅集会所
山崎西町内会館	富士見町町内会館	岡本住宅集会所
	(台在宅福祉サービスセンター内 1 階)	市営諏訪ヶ谷ハイツ集会所

}併せて 1 回答

2. アンケート結果

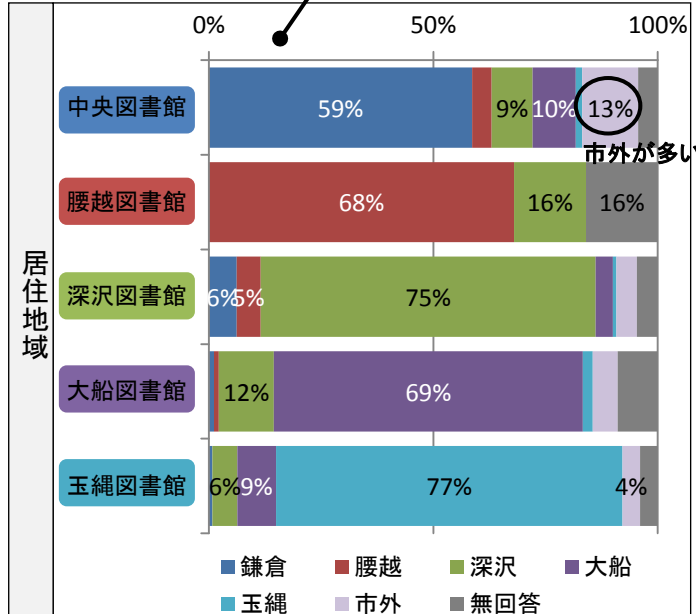
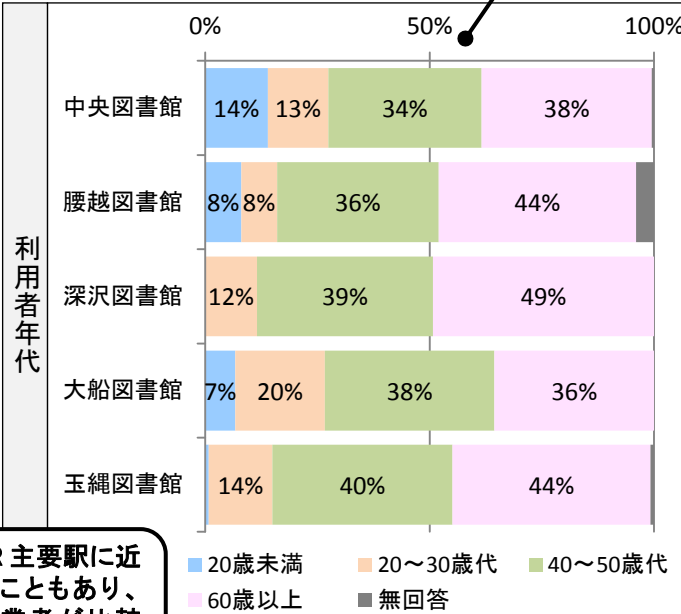
各施設ごとに、利用年代・居住地域・利用者職業・交通手段・利用頻度・利用目的を調査しました。



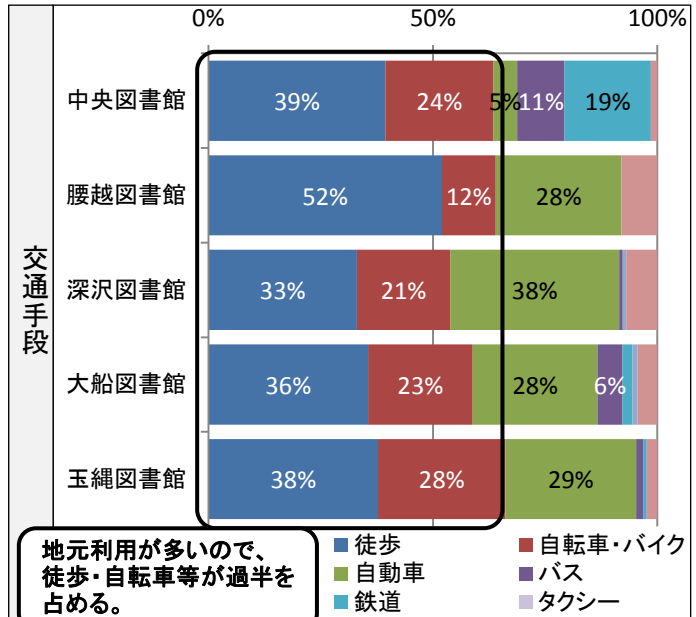
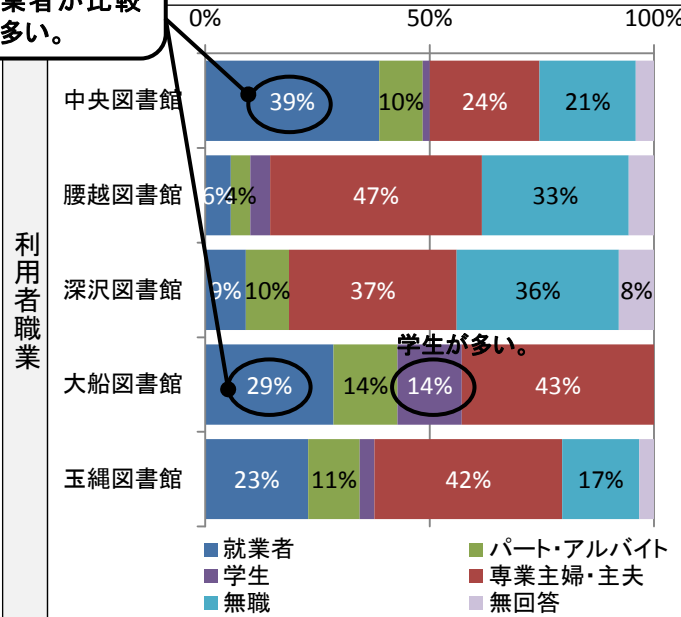
図書館

40～50 歳代、60 歳以上の利用
がそれぞれ約 4 割を占める。

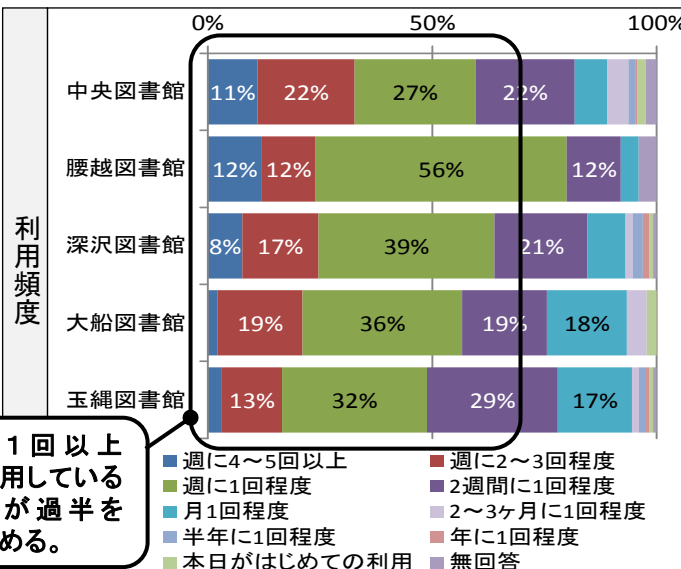
どの施設も、当該地区
の利用が 6 割以上



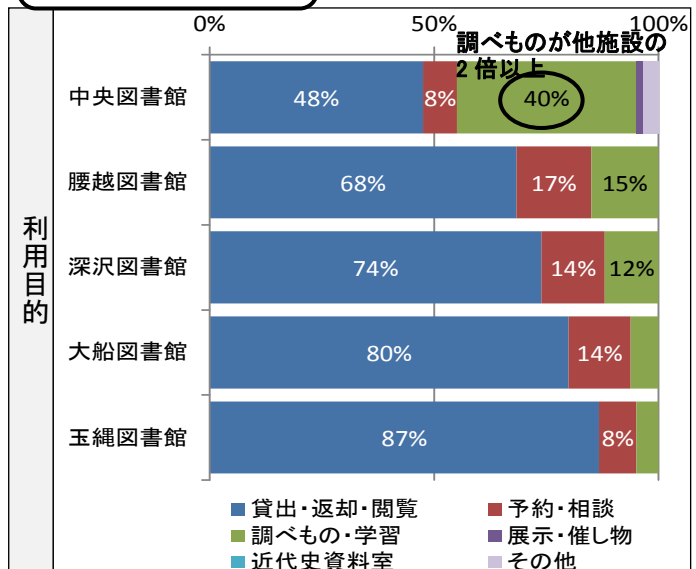
JR 主要駅に近
いこともあり、
就業者が比較
的が多い。



地元利用が多いので、
徒歩・自転車等が過半を
占める。



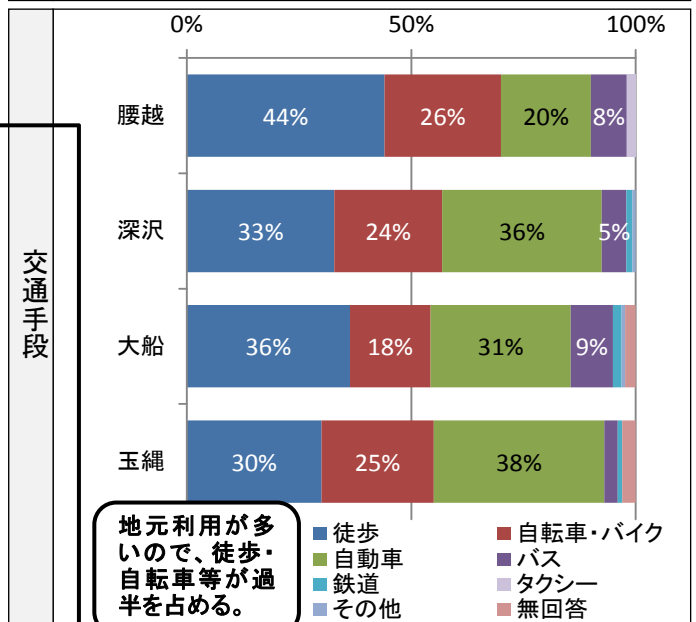
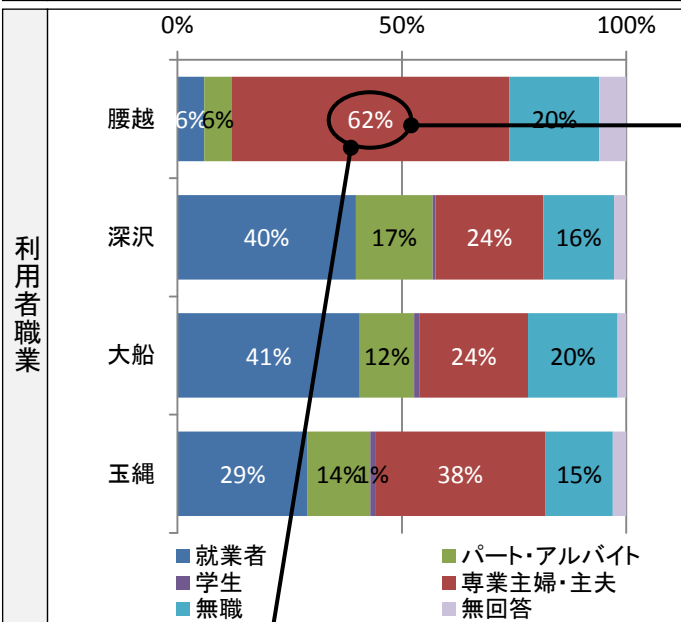
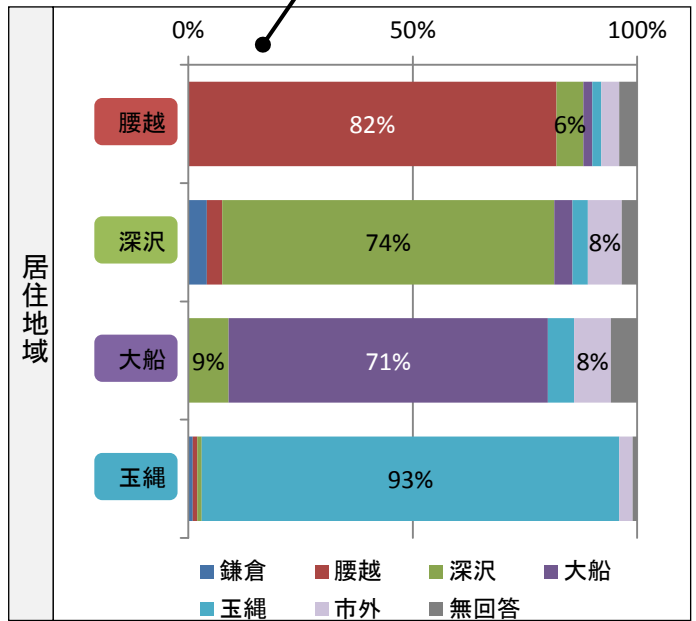
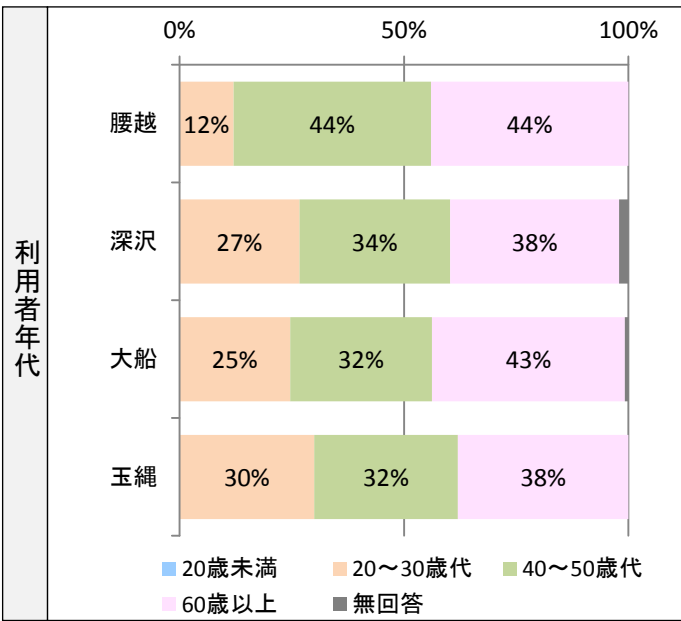
週 1 回 以上
利用している
人が過半を
占める。



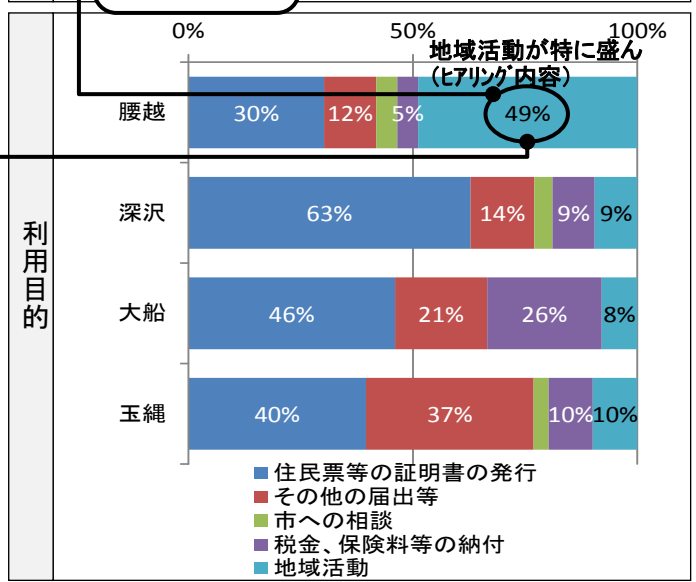
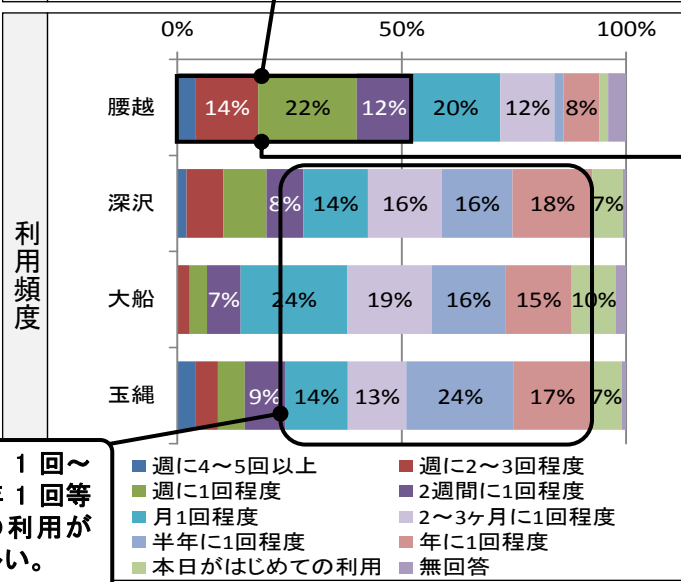
調べものが他施設の
2 倍以上

支所

どの施設も、当該地区の利用が7割以上

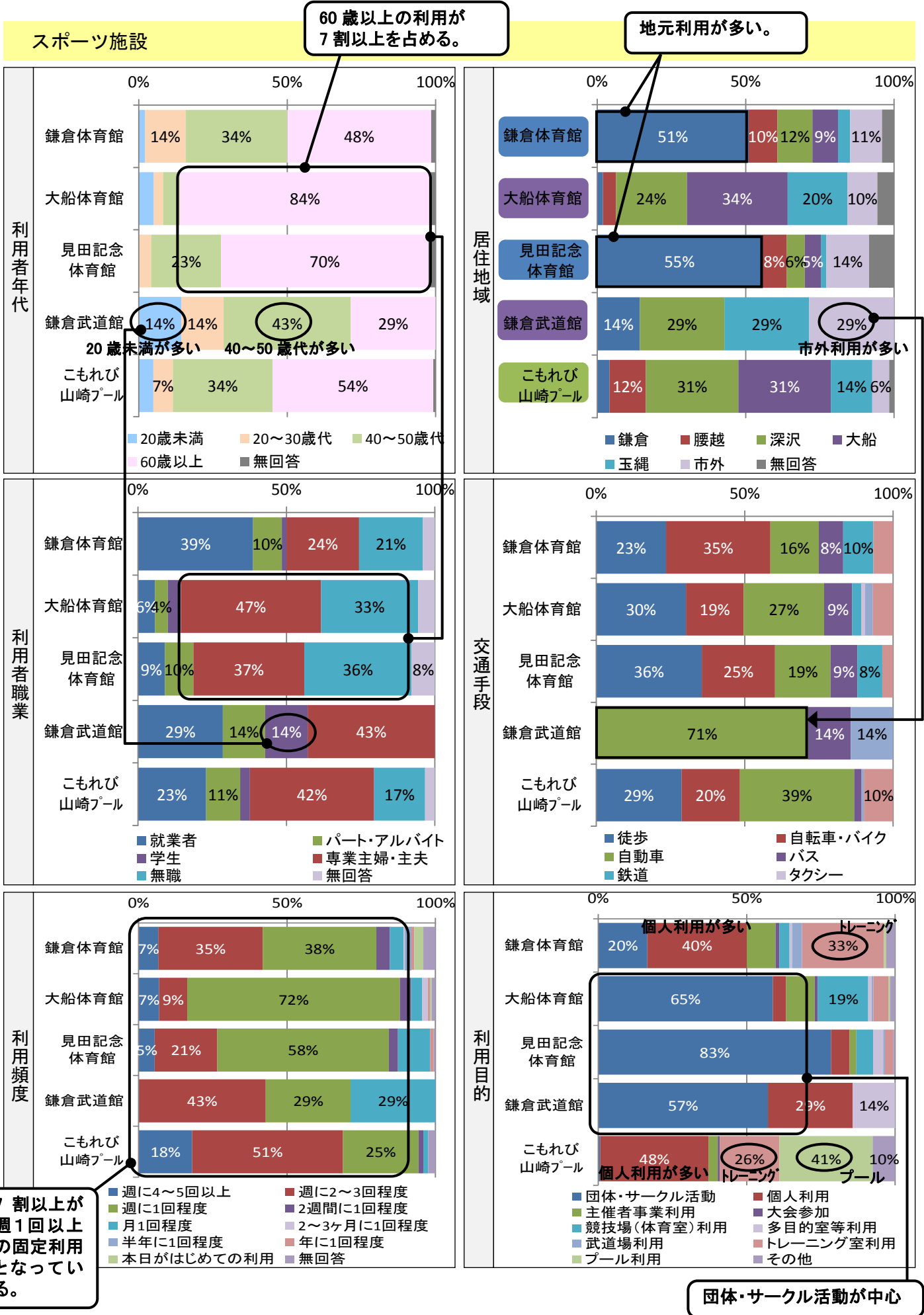


地元利用が多いので、徒歩・自転車等が過半を占める。



地域活動が特に盛ん(ヒアリング内容)

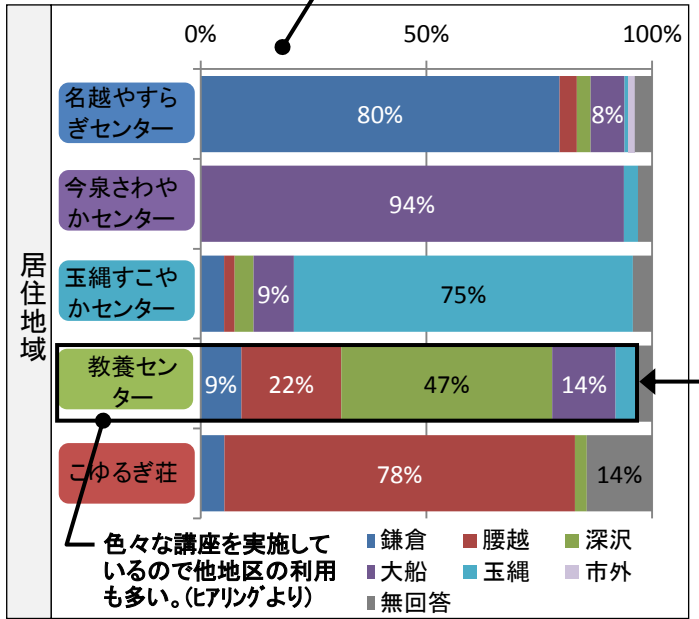
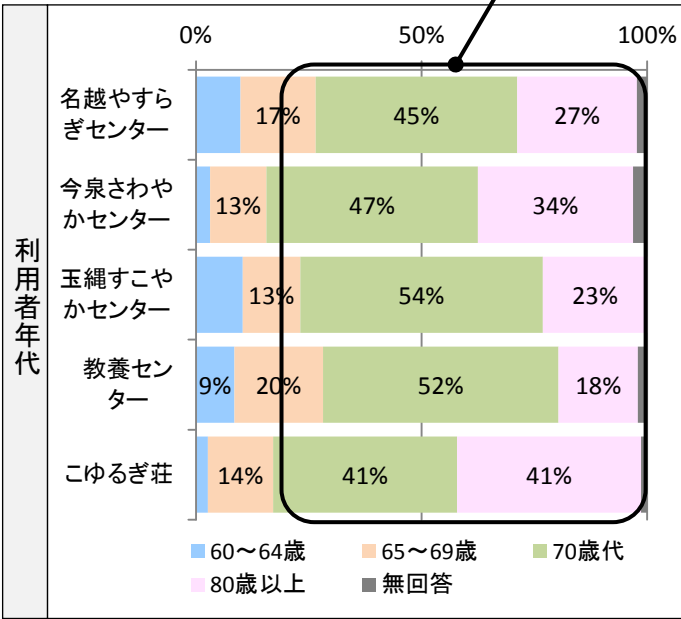
月1回~年1回等の利用が多い。



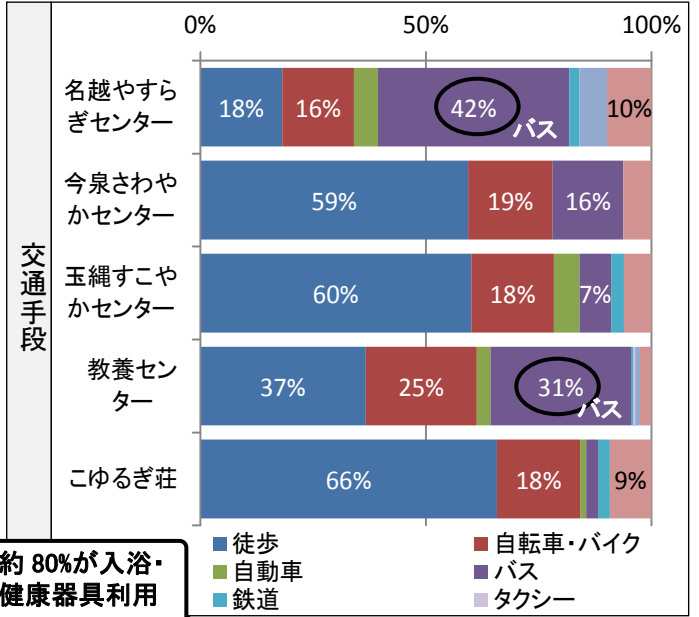
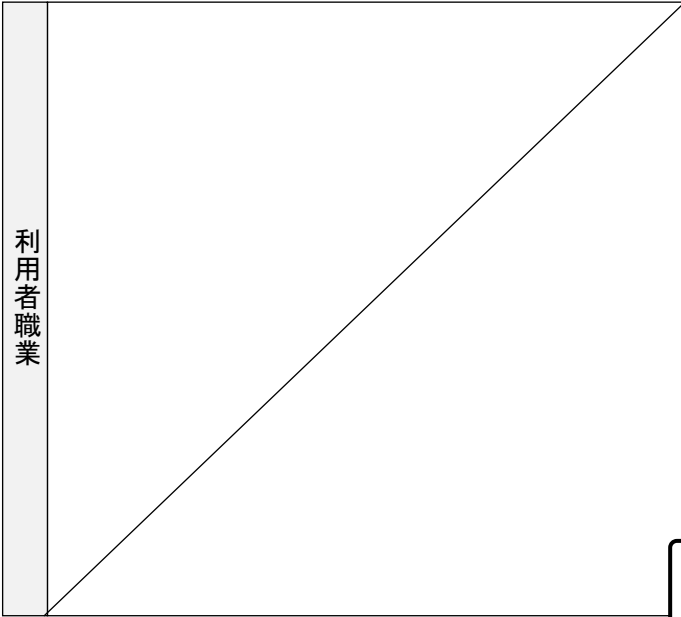
老人福祉センター

70・80 歳以上の利用が中心となっている。

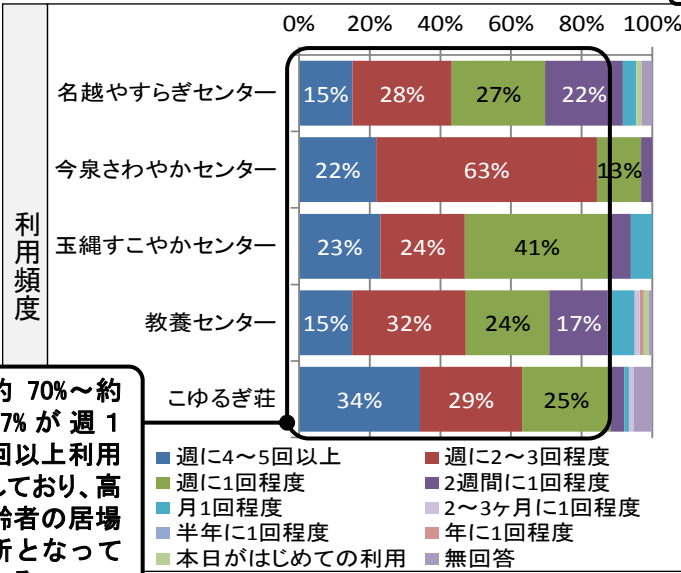
地元利用が多い。



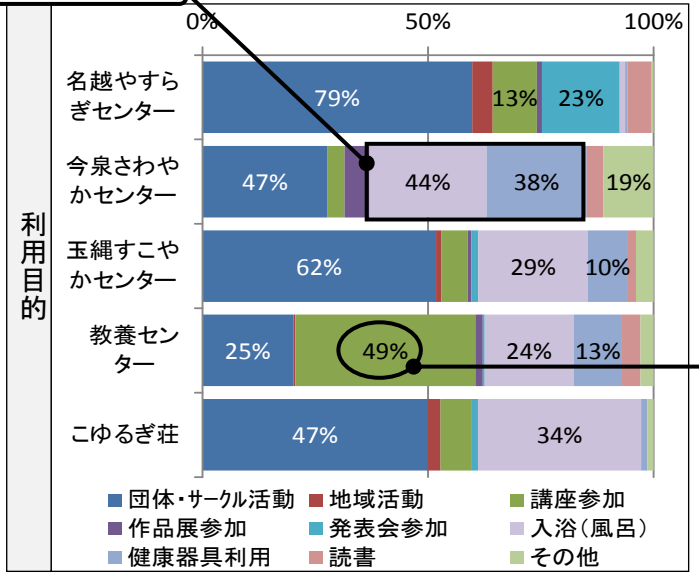
色々な講座を実施しているため他地区の利用も多い。(ヒアリングより)



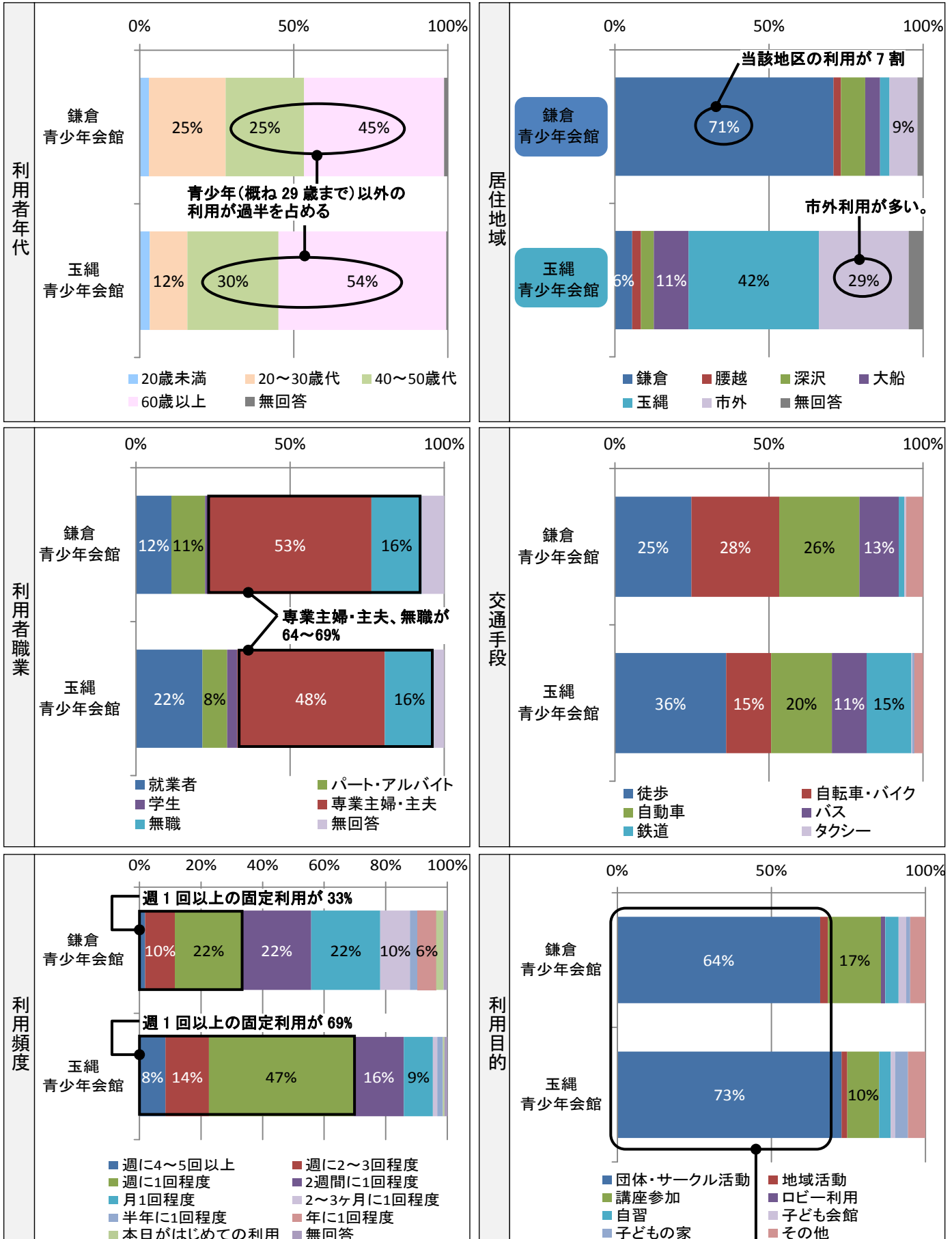
約 80%が入浴・健康器具利用



約 70%～約 97%が週 1 回以上利用しており、高齢者の居場所となっている。

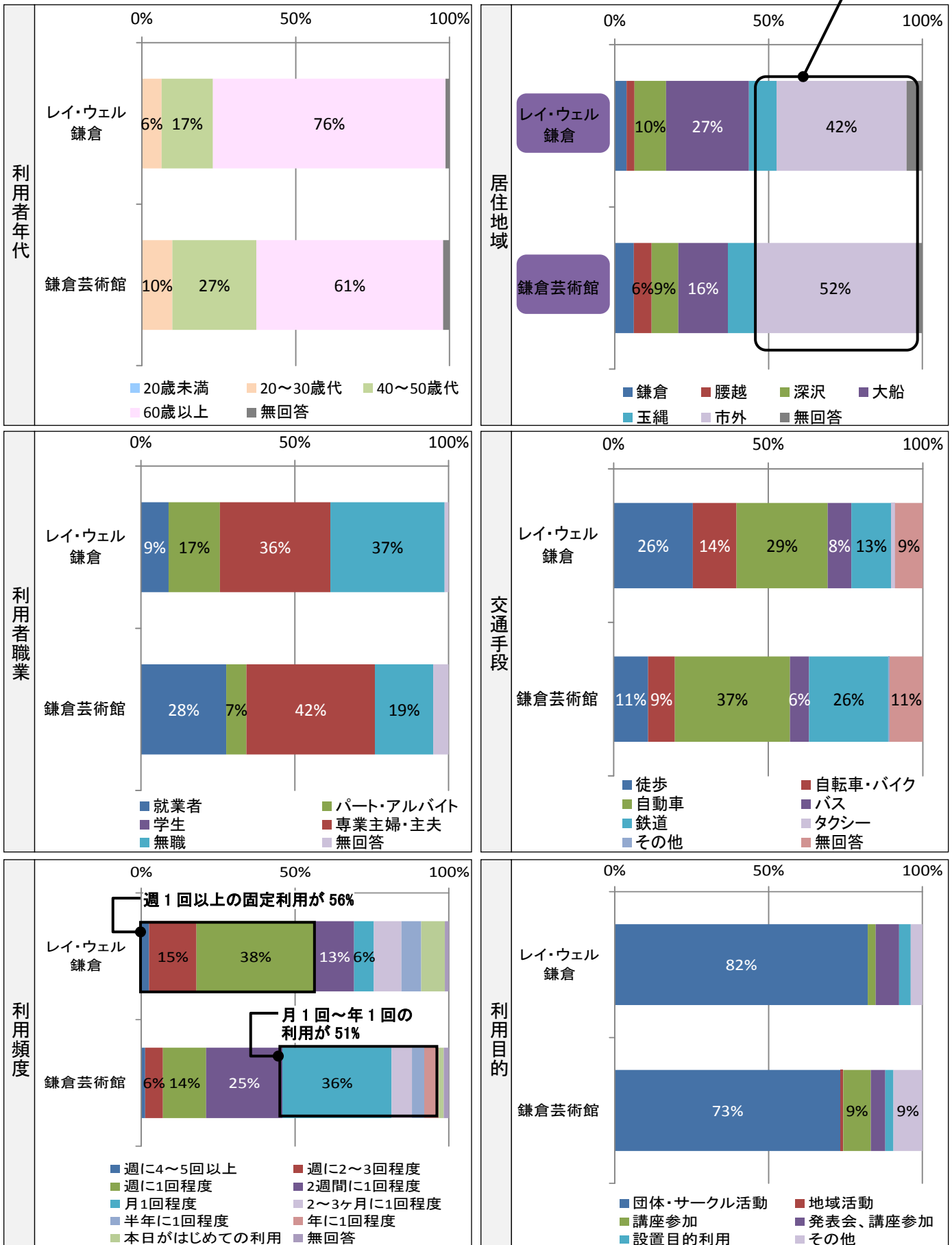


青少年会館

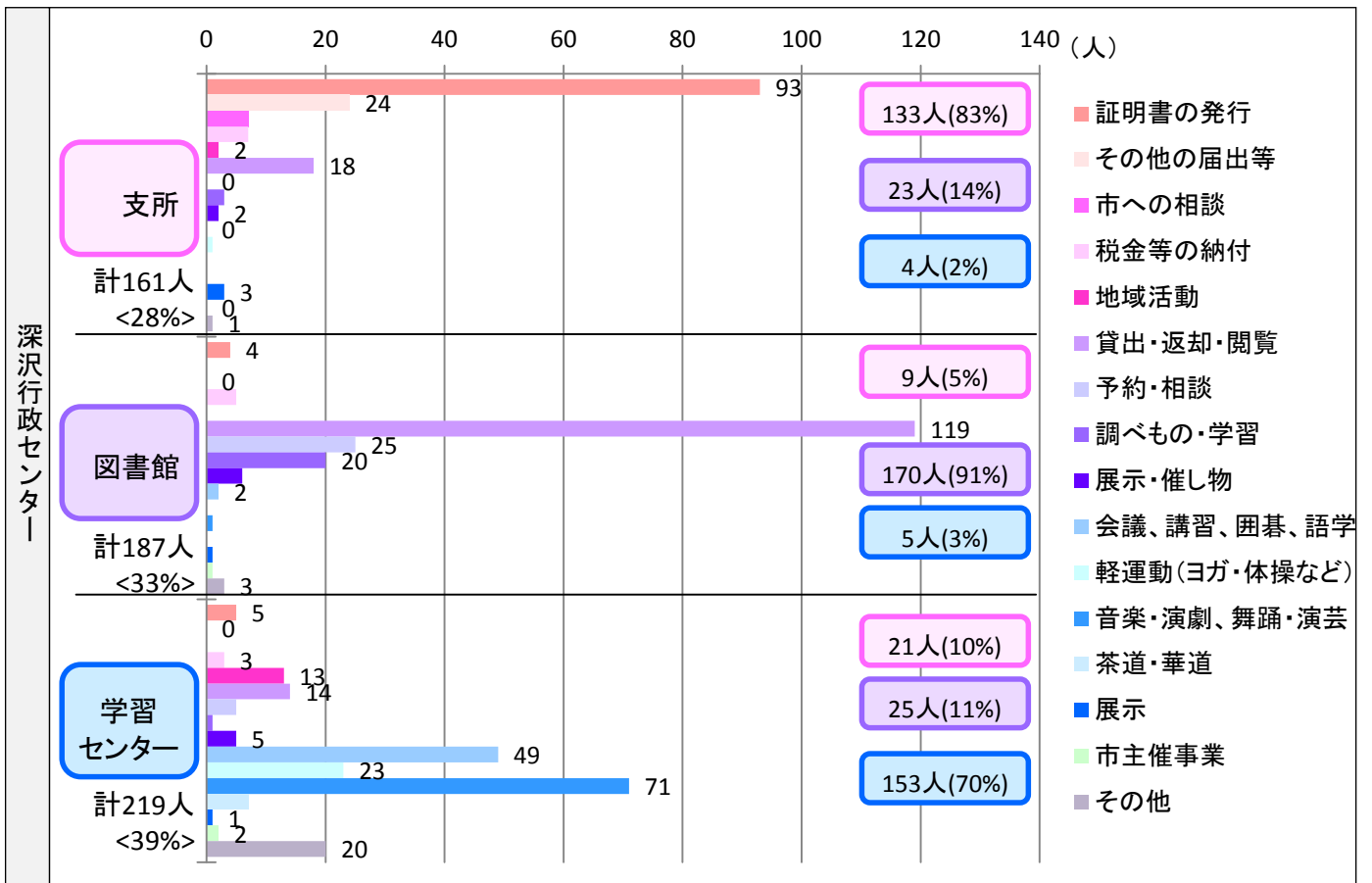
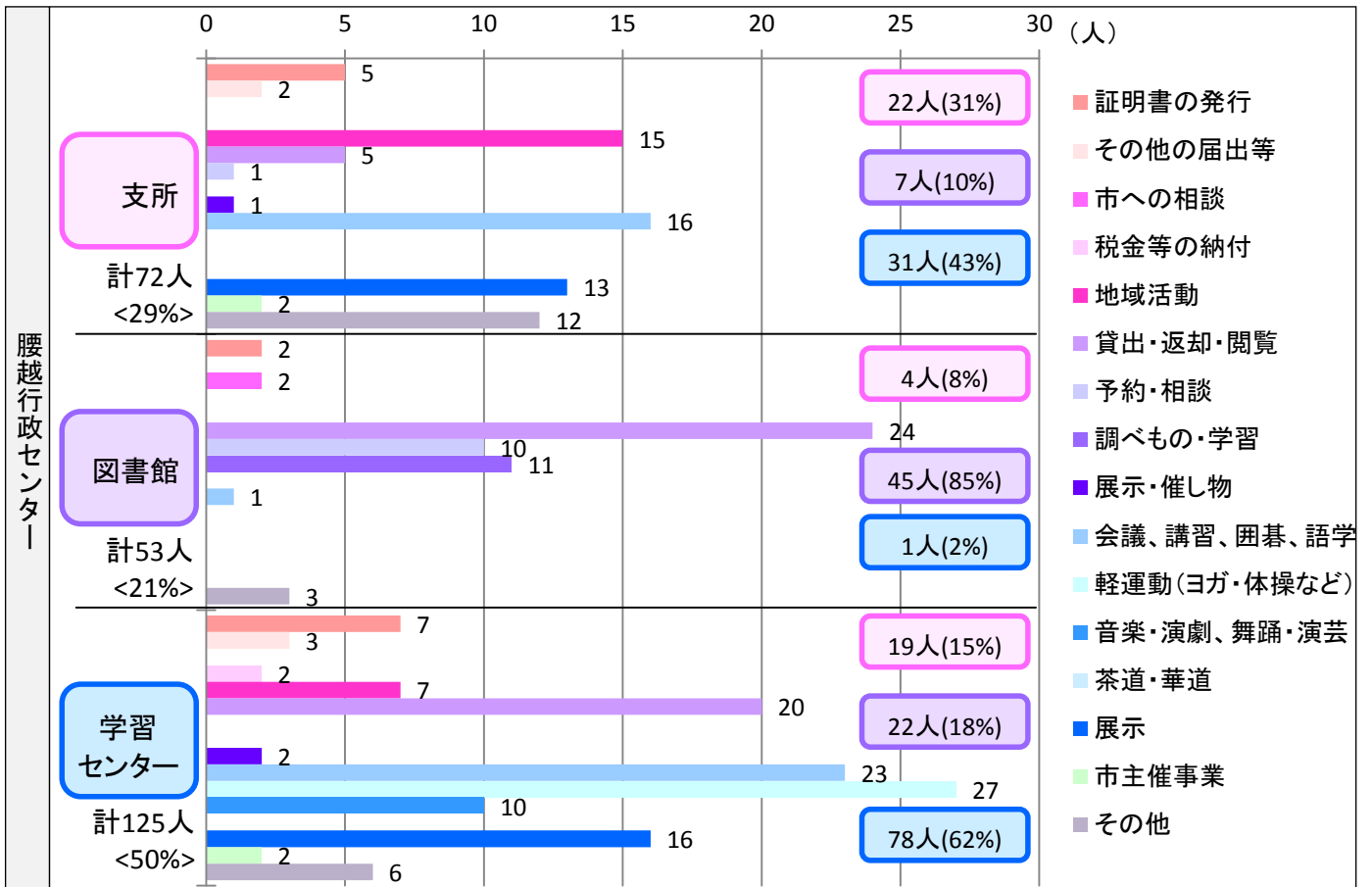


レイ・ウェル鎌倉、鎌倉芸術館

市外利用が多い。

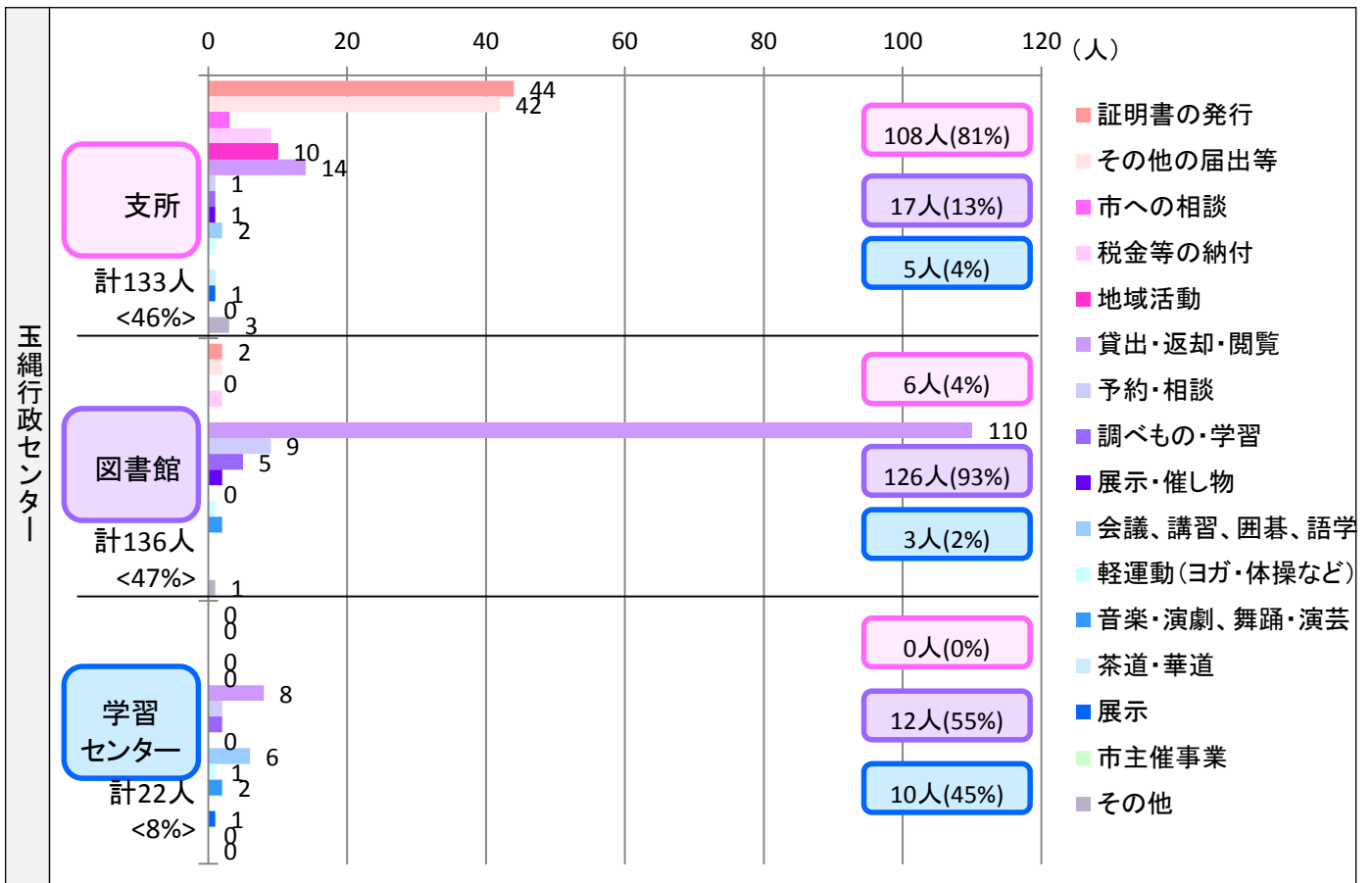
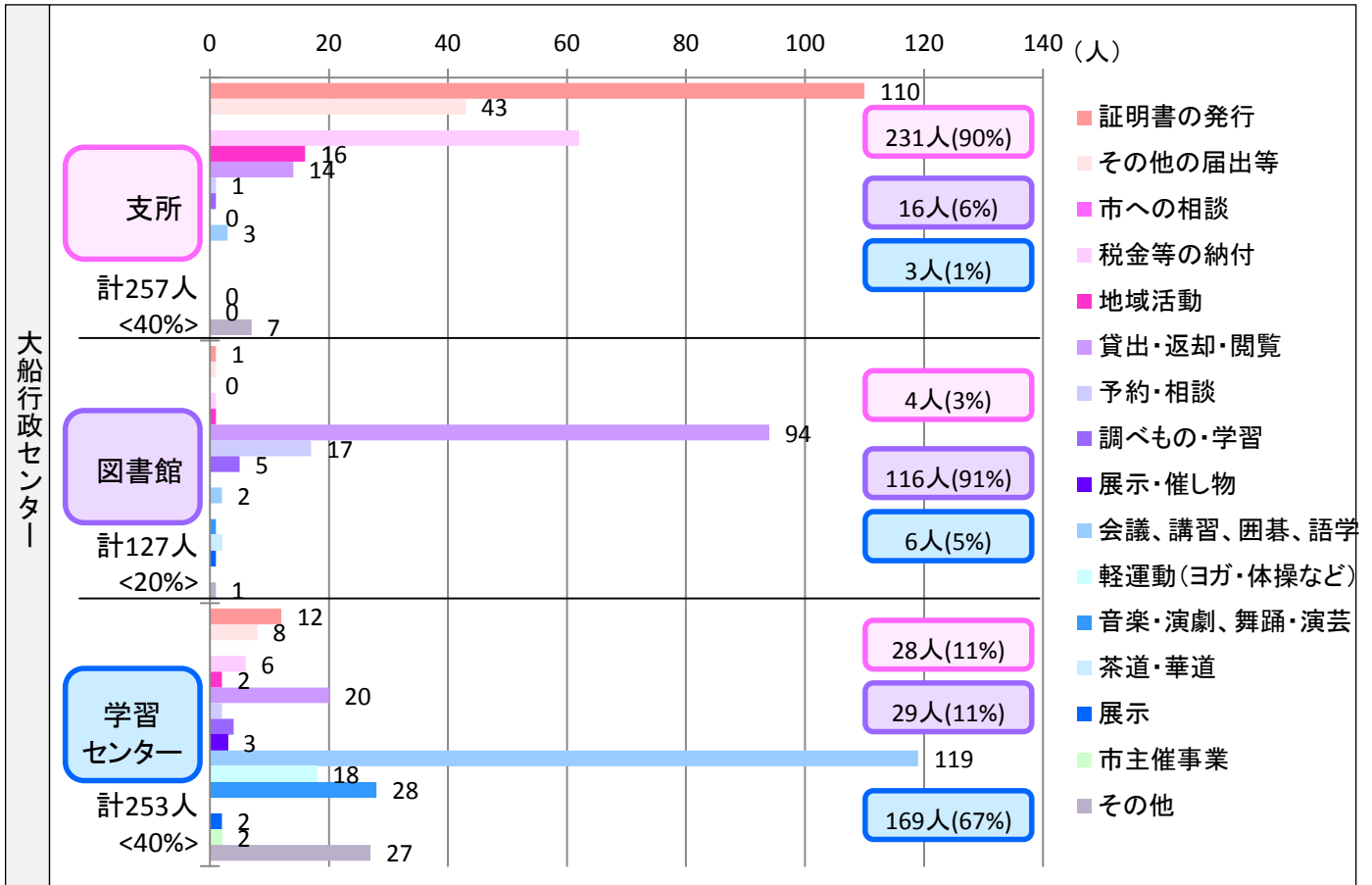


行政センター（複合施設の利用状況（施設別の利用する理由））



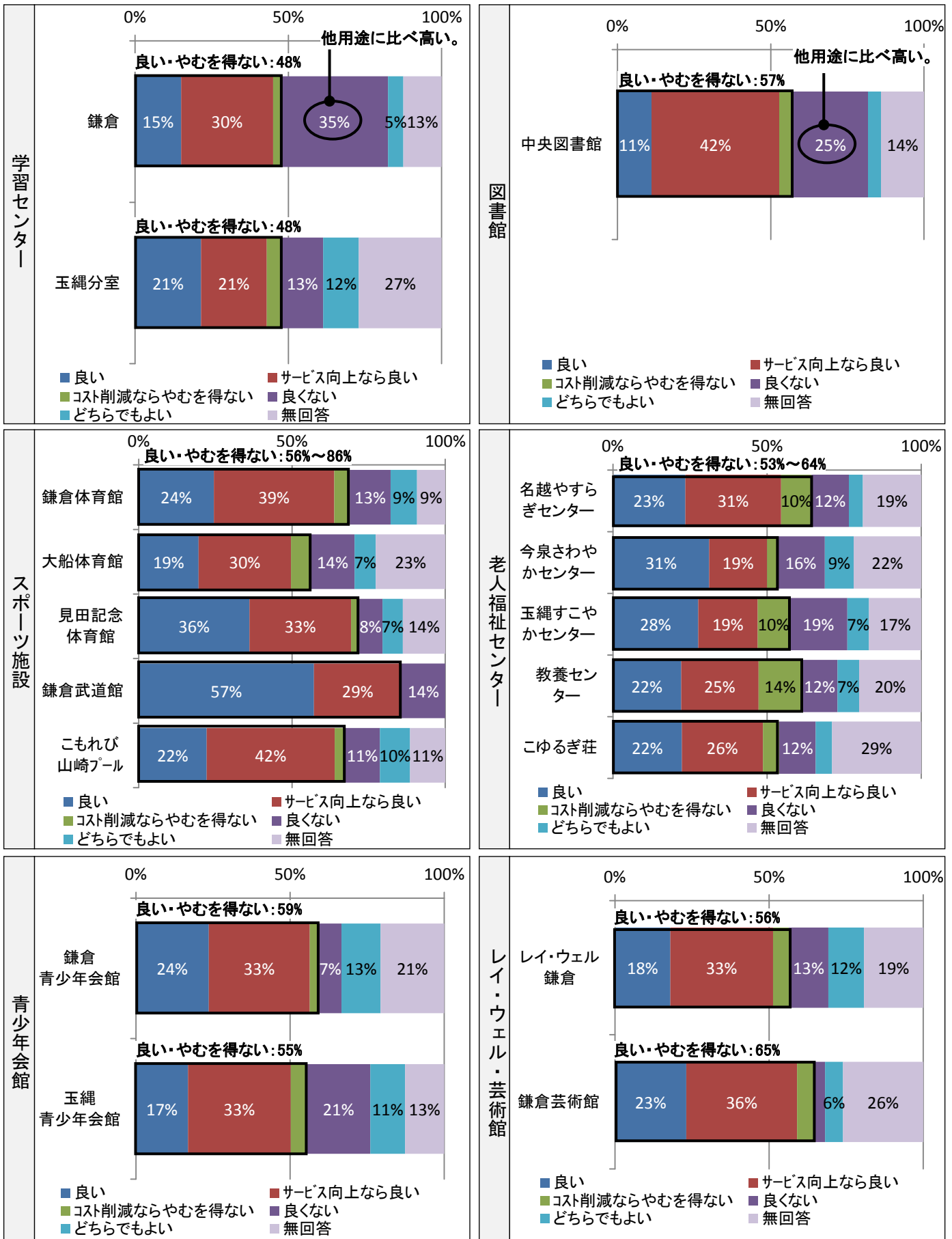
- 支所、図書館、学習センターの利用割合は施設によって異なる。
- 図書館は、図書館利用が目的の人が大半を占める。
- 支所、学習センターの利用者は、複合している他施設も利用する人が多い。

行政センター（複合利用の状況）



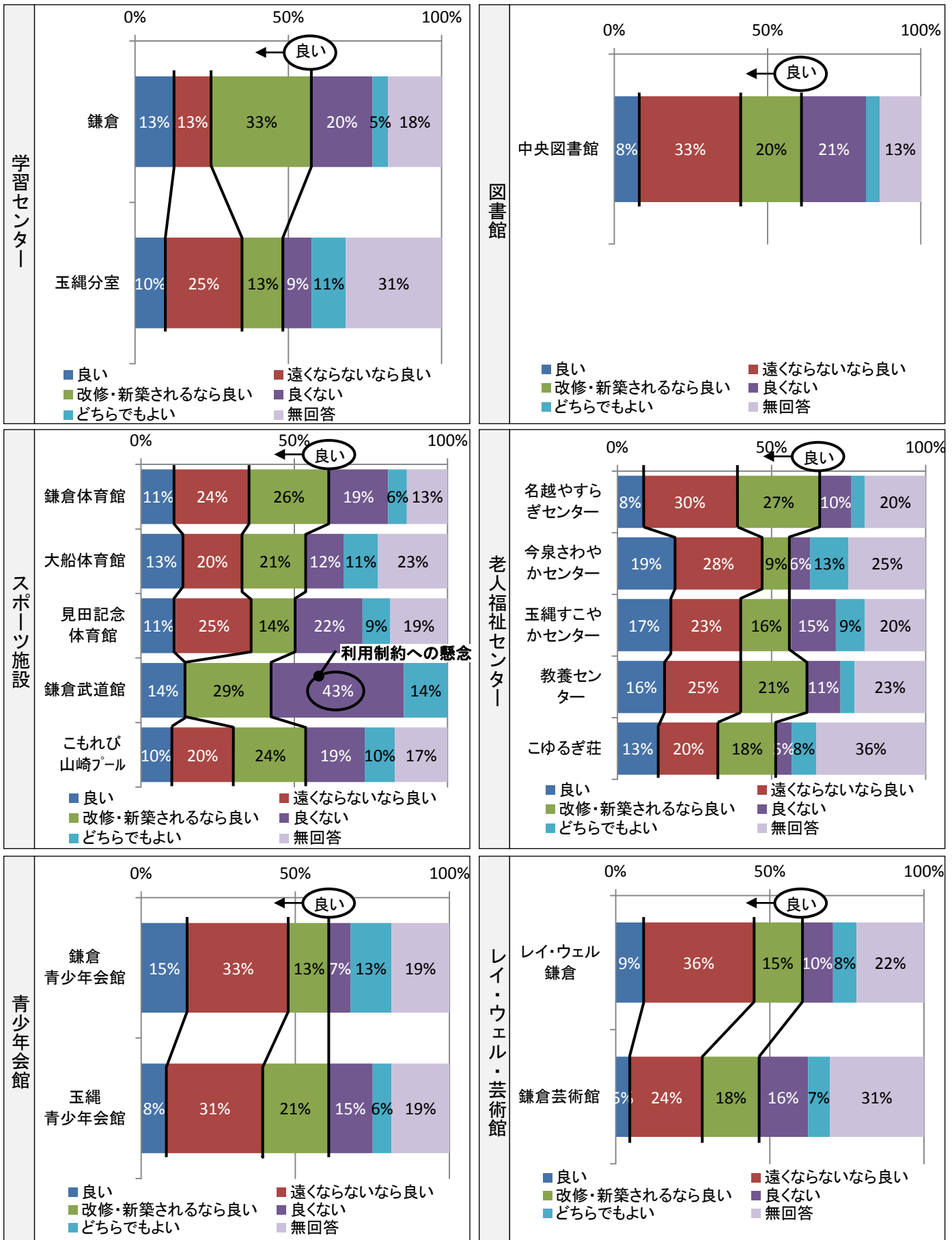
- 学習センター・中央図書館は、他用途に比べ「良い」と考える人の割合が低く、「よくない」と考える人の割合が高い。
- スポーツ施設は、全施設で「良い」と考える人が多い。

将来のあり方<民営化や指定管理者制度(民間事業者等による施設管理)導入>



- 条件付きも含めて複合化を「良い」と考える人が全用途で 50%程度である。
- 条件なく「良い」と考える人は 10%程度となっている。
- 「良くない」と考える人は、利用制約が出る事への懸念が大きい。

将来のあり方<他施設（学校等）との複合化など>



その他集会施設

※地元の人が、自治会の集会やサークル活動(囲碁、日本画、体操等)、その他老人会や子供会、バザー等で活用
 ※基本的に、年末年始を除き、いつでも自由に利用できる施設が多い

● 1日当たりの利用者数は、0.5人～35人と施設によりばらつきがある。

